



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月8日

上場会社名 株式会社 千葉興業銀行 上場取引所 東  
コード番号 8337 URL <https://www.chibakogyo-bank.co.jp/>  
代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 梅田 仁司  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 中村 遵史 TEL 043-243-2111  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 ー  
特定取引勘定設置の有無 無  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	40,434	2.9	8,420	1.8	6,047	3.0
2023年3月期第3四半期	39,286	4.0	8,270	7.6	5,867	1.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 10,976百万円 (ー%) 2023年3月期第3四半期 Δ1,232百万円 (ー%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	105.63	44.54
2023年3月期第3四半期	98.94	27.49

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,308,981	178,388	5.2
2023年3月期	3,180,129	170,718	5.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 173,822百万円 2023年3月期 166,476百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	ー	0.00	ー	5.00	5.00
2024年3月期	ー	0.00	ー	5.00	5.00
2024年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当行が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、P.3「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	Δ1.7	6,400	Δ1.1	94.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	62,222,045株	2023年3月期	62,222,045株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	4,962,991株	2023年3月期	4,994,313株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	57,247,710株	2023年3月期3Q	59,301,208株

(注) 当行は株式給付信託制度を導入しており、当該信託が所有する当行株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において当行が入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当行として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、国内外の経済情勢、株式市場等の状況変化等がありますが、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

「種類株式の配当の状況」

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る年間配当金の内訳は以下のとおりです。

第二種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	104.00	104.00
2024年3月期	—	—	—		
2024年3月期(予想)				104.00	104.00

第2回第六種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	300.00	300.00
2024年3月期	—	—	—		
2024年3月期(予想)				300.00	300.00

第1回第七種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	900.00	900.00
2024年3月期	—	—	—		
2024年3月期(予想)				900.00	900.00

第2回第七種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	9,000.00	9,000.00
2024年3月期	—	—	—		
2024年3月期(予想)				9,000.00	9,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 5
(継続企業の前提に関する注記)	P. 5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 5
3. 2024年3月期第3四半期決算 補足説明資料	P. 6
(1) 損益の状況【単体】	P. 6
(2) 預金、投資信託等、貸出金等の残高【単体】	P. 7
(3) 時価のある有価証券の評価差額【連結】	P. 7
(4) 自己資本比率(国内基準)【単体】【連結】	P. 8
(5) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権【単体】	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症からの社会・経済活動の正常化が進みました。国内景気は、物価高や円安によるエネルギー価格の高騰、金融政策の見直しに対する不透明感などの懸念材料もありながら、インバウンド消費の回復や半導体不足の解消が進んだことなどにより経済活動が活性化し、緩やかな回復が続いております。

このような金融経済環境のもと、当行は中期経営計画「幸せデザイン 絆プロジェクト 2025 ～ CKB コミュニティ確立に向けて 1st ステージ～」の達成に向けて、各種施策を積極的に展開してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当行グループの経営成績は次のようになりました。

経常収益は、前年同期比 11 億 47 百万円増加の 404 億 34 百万円となりました。経常費用は同 9 億 97 百万円増加の 320 億 13 百万円となっております。

これらにより、経常利益は前年同期比 1 億 50 百万円増加の 84 億 20 百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は同 1 億 79 百万円増加の 60 億 47 百万円となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の預金残高につきましては、前連結会計年度末比 965 億円増加の 2 兆 9,184 億円となりました。また、貸出金残高につきましては、同 346 億円増加の 2 兆 3,889 億円、有価証券残高は、同 126 億円増加の 5,122 億円となっております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023 年 11 月 10 日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	261,918	339,037
買入金銭債権	97	97
商品有価証券	89	125
有価証券	499,635	512,249
貸出金	2,354,293	2,388,976
外国為替	3,174	3,799
その他資産	40,289	43,377
有形固定資産	19,033	18,835
無形固定資産	2,704	2,828
繰延税金資産	1,117	192
支払承諾見返	6,463	7,652
貸倒引当金	△8,687	△8,191
資産の部合計	3,180,129	3,308,981
<b>負債の部</b>		
預金	2,821,828	2,918,417
譲渡性預金	129,700	129,700
コールマネー及び売渡手形	—	30,000
借入金	21,830	23,287
外国為替	128	45
その他負債	25,533	16,498
退職給付に係る負債	3,420	3,286
役員退職慰労引当金	33	32
株式給付引当金	105	145
睡眠預金払戻損失引当金	70	50
繰延税金負債	296	1,476
支払承諾	6,463	7,652
負債の部合計	3,009,410	3,130,592
<b>純資産の部</b>		
資本金	62,120	62,120
資本剰余金	6,971	6,971
利益剰余金	92,795	95,508
自己株式	△2,350	△2,338
株主資本合計	159,536	162,262
その他有価証券評価差額金	7,291	11,535
繰延ヘッジ損益	47	302
退職給付に係る調整累計額	△398	△277
その他の包括利益累計額合計	6,940	11,560
新株予約権	122	137
非支配株主持分	4,119	4,428
純資産の部合計	170,718	178,388
負債及び純資産の部合計	3,180,129	3,308,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
経常収益	39,286	40,434
資金運用収益	20,404	21,172
(うち貸出金利息)	16,337	16,811
(うち有価証券利息配当金)	3,420	3,683
役務取引等収益	9,091	9,596
その他業務収益	1,049	120
その他経常収益	8,741	9,544
経常費用	31,016	32,013
資金調達費用	299	563
(うち預金利息)	112	114
役務取引等費用	3,201	3,185
その他業務費用	2,759	1,772
営業経費	18,288	18,776
その他経常費用	6,467	7,715
経常利益	8,270	8,420
特別利益	—	9
固定資産処分益	—	9
特別損失	103	85
固定資産処分損	103	75
減損損失	—	10
税金等調整前四半期純利益	8,167	8,344
法人税、住民税及び事業税	1,441	2,287
法人税等調整額	714	△42
法人税等合計	2,155	2,245
四半期純利益	6,011	6,099
非支配株主に帰属する四半期純利益	144	52
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,867	6,047

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	6,011	6,099
その他の包括利益	△7,243	4,876
その他有価証券評価差額金	△7,671	4,499
繰延ヘッジ損益	278	254
退職給付に係る調整額	149	121
四半期包括利益	△1,232	10,976
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,505	10,667
非支配株主に係る四半期包括利益	273	309

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。



3. 2024年3月期第3四半期決算 補足説明資料

(1) 損益の状況【単体】

【業務粗利益等】

資金利益は、貸出金利息の増加などにより前年同期比3億円の増加となりました。役務取引等利益は、預り資産販売手数料や法人関係手数料などが順調に推移し同6億円増加となっております。これらにより業務粗利益は同10億円の増加となっております。

経費は人件費や物件費等の増加により同4億円増加しましたが、業務純益は同6億円増加の65億77百万円となりました。なお、銀行の本業収益と言われるコア業務純益は同4億円増加(+6.0%)の82億64百万円となっております。

【経常利益】

臨時損益は、株式等関係損益が増加しましたが、利益の減少要因である不良債権処理額などの実質信用コストの増加により、前年同期比3億円の減少となっております。これにより、経常利益は同2億円増加(+3.4%)の81億78百万円となりました。なお、2024年3月期業績予想(経常利益92億円)に対する進捗率は88.8%となっております。

【四半期純利益】

四半期純利益は前年同期比1億円増加の61億26百万円となりました。なお、2024年3月期業績予想(当期純利益65億円)に対する進捗率は94.2%となっております。

(単位：百万円)

	2024年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	前年同期比
業務粗利益	24,930	23,872	1,058
(除く国債等債券関係損益)	(26,617)	(25,704)	(912)
資金利益	21,269	20,871	397
役務取引等利益	5,312	4,710	601
その他業務利益	△1,651	△1,710	58
経費(除く臨時処理分) (△)	18,353	17,912	440
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	6,577	5,959	617
コア業務純益	8,264	7,792	472
除く投資信託解約損益	7,022	6,993	28
一般貸倒引当金繰入額 (△)	(△90)	(△782)	(692)
業務純益	6,577	5,959	617
国債等債券関係損益	△1,686	△1,832	145
臨時損益	1,600	1,947	△346
不良債権処理額 ① (△)	1,389	250	1,139
うち個別貸倒引当金繰入額 (△)	(△241)	(41)	(△283)
貸倒引当金戻入益 ②	331	740	△409
償却債権取立益 ③	299	891	△592
株式等関係損益	2,505	446	2,058
経常利益	8,178	7,907	271
特別損益	△75	△103	27
税引前四半期純利益	8,103	7,804	298
法人税等合計 (△)	1,976	1,811	165
四半期純利益	6,126	5,992	133
貸倒償却引当費用 (①-②) (△)	1,057	△490	1,548
実質信用コスト (①-②-③) (△)	757	△1,382	2,140

(注) 1. 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

2. コア業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前) - 国債等債券関係損益

3. 2024年3月期第3四半期および2023年3月期第3四半期においては、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益」の貸倒引当金戻入益に計上しております。

(2) 預金、投資信託等、貸出金等の残高【単体】

①預金、投資信託等預り資産

預金残高は前年同期比 172 億円増加 (+0.5%) の 2 兆 9,298 億円となりました。このうち、個人預金は同 106 億円増加 (+0.4%) の 2 兆 1,584 億円となっております。  
 預り資産残高では、投資信託等の残高が同 189 億円増加 (+13.6%)、年金保険等の残高が同 284 億円増加 (+13.0%) しております。

	(単位：億円)			(参考) (単位：億円)
	2023年12月末	2022年12月末	前年同期比	2023年3月末
預 金	29,298	29,126	172	28,342
うち 個人預金	21,584	21,477	106	21,223
譲渡性預金	1,297	1,297	—	1,297
公 共 債	103	102	0	108
投資信託等	1,578	1,389	189	1,465
年金保険等	2,465	2,181	284	2,252

②貸出金

貸出金残高は、中小企業等貸出を中心に増加をはかり、前年同期比 481 億円増加 (+2.0%) の 2 兆 3,918 億円となりました。

	(単位：億円)			(参考) (単位：億円)
	2023年12月末	2022年12月末	前年同期比	2023年3月末
貸 出 金	23,918	23,437	481	23,567
うち 住宅ローン	8,092	8,390	△298	8,311
中小企業等貸出	21,053	20,747	305	20,889

(3) 時価のある有価証券の評価差額【連結】

	(単位：億円)								(参考) (単位：億円)			
	2023年12月末				2022年12月末				2023年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損		うち益	うち損		うち益	うち損		うち益	うち損
その他有価証券	4,423	172	316	144	4,712	96	267	171	4,650	107	256	148
株式	421	311	311	0	367	239	242	3	363	240	243	3
債券	2,792	△49	1	51	2,774	△60	0	60	2,771	△37	1	38
その他	1,209	△89	3	92	1,569	△83	24	108	1,515	△95	11	107

(注)なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

	(単位：億円)								(参考) (単位：億円)			
	2023年12月末				2022年12月末				2023年3月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
		うち益	うち損		うち益	うち損		うち益	うち損		うち益	うち損
満期保有目的の債券	673	△3	3	6	335	△0	0	1	319	1	1	0
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(4) 自己資本比率 (国内基準)

2023年12月末における銀行単体の自己資本比率は、前年同期比0.23ポイント上昇し8.96%となりました。また、連結の自己資本比率も同0.22ポイント上昇し9.16%となっております。

【単体】

(単位：百万円) (参考)(単位：百万円)

	2023年12月末	2022年12月末	前年同期比	2023年3月末
①自己資本比率 (%)	8.96	8.73	0.23	8.67
②コア資本に係る基礎項目	159,960	159,596	364	155,901
③コア資本に係る調整項目	1,779	1,586	192	1,692
④自己資本 ②-③	158,181	158,010	171	154,208
⑤リスクアセット	1,764,663	1,809,045	△44,382	1,777,898

【連結】

(単位：百万円) (参考)(単位：百万円)

	2023年12月末	2022年12月末	前年同期比	2023年3月末
①自己資本比率 (%)	9.16	8.94	0.22	8.86
②コア資本に係る基礎項目	165,567	165,512	55	161,470
③コア資本に係る調整項目	1,967	1,770	197	1,880
④自己資本 ②-③	163,600	163,742	△141	159,590
⑤リスクアセット	1,785,916	1,830,763	△44,846	1,799,436

(5) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権【単体】

金融再生法に基づく不良債権額は、前年同期比7億円増加の421億円となりました。また、総与信残高に占める不良債権額の割合(不良債権比率)は、前年同期と同水準の1.73%となっております。今後とも地元企業の経営課題解決支援に取組み、お取引先企業の経営改善を積極的にサポートし、恒久的な金融円滑化に取り組んでまいります。

(単位：億円) (参考)(単位：億円)

	2023年12月末	2022年12月末	前年同期比	2023年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	51	46	5	51
危険債権	319	330	△10	342
要管理債権	49	36	13	38
うち三月以上延滞債権	—	—	—	5
うち貸出条件緩和債権	49	36	13	32
合計 ①	421	413	7	432
正常債権	23,896	23,458	438	23,541
総与信残高 ②	24,318	23,872	445	23,973
不良債権比率 (%) ①/②	1.73	1.73	△0.00	1.80

以上